

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】令和 6 年 9 月 25 日(2024.9.25)

【公開番号】特開 2023-163051(P2023-163051A)
【公開日】令和 5 年 11 月 9 日(2023.11.9)
【年通号数】公開公報(特許)2023-211
【出願番号】特願 2022-73847(P2022-73847)
【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

A 6 3 F 7/02 3 3 4

【手続補正書】

【提出日】令和 6 年 9 月 13 日(2024.9.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

所定条件の成立に基づいて遊技者に遊技価値を付与可能な遊技機であって、
表実装面に複数の発光体を実装される複数の発光基板を備え、
該複数の発光基板には、
電子部品を電気的に接続する配線パターンと、
直線上に並んだ文字列によって構成される当該発光基板を特定可能な固有の管理番号と、
が備えられており、
前記複数の発光基板のうちの特定発光基板には、
特定の外径形状を有する特定発光体と、
前記特定の外径形状とは異なる特別の外径形状を有する特別発光体と、が少なくとも実装
され、
前記特定発光体は、直線上に並んだ前記管理番号に対して水平又は垂直となるような向き
に配置され、
前記特別発光体は、直線上に並んだ前記管理番号に対して傾斜するような向きに配置され
る
さらに、前記管理番号は、直線上に並んだ前記管理番号に対して傾斜するような向きに配
置される前記発光体を実装される基板面だけでなく、該基板面の反対側の基板面にも設け
られ、
直線上に並んだ前記管理番号に対して傾斜するような向きに配置される前記特別発光体の
輝度を遊技者操作により調整可能な輝度調整手段を備える、

30

40

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0002

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0002】

従来、始動口に遊技球が入賞したこと（始動条件の成立）に基づいて大当たりとするか否

50

かの抽選を行い、抽選結果が大当たりとなった場合には、図柄を変動表示する表示装置に大当たり図柄を停止表示して大当たり遊技を発生させる遊技機がある。このような遊技機には、LED等の発光体が設けられ、表示装置の表示に関連して発光体を発光させて遊技興趣の低下を抑止するようになっている（例えば、特許文献１）。

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００３

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００３】

【特許文献１】特開２０２１－０４９４４６号公報

【手続補正４】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００４

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００４】

しかしながら、上記した従来の遊技機では、発光体を発光させて遊技興趣の低下を抑止を図るために未だ改善の余地がある。

【手続補正５】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００５

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００５】

本発明は、このような事情に鑑みてなされたものであり、発光体を適切に発光させて遊技興趣の低下を抑止可能な遊技機を提供することを目的とする。

【手続補正６】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００７

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００７】

上記した目的を達成するために、本発明においては、
所定条件の成立に基づいて遊技者に遊技価値を付与可能な遊技機であって、
表実装面に複数の発光体が実装される複数の発光基板を備え、
該複数の発光基板には、
電子部品を電氣的に接続する配線パターンと、
直線上に並んだ文字列によって構成される当該発光基板を特定可能な固有の管理番号と、
が備えられており、
前記複数の発光基板のうちの特定発光基板には、
特定の外径形状を有する特定発光体と、
前記特定の外径形状とは異なる特別の外径形状を有する特別発光体と、が少なくとも実装され、
前記特定発光体は、直線上に並んだ前記管理番号に対して水平又は垂直となるような向きに配置され、
前記特別発光体は、直線上に並んだ前記管理番号に対して傾斜するような向きに配置され、
さらに、前記管理番号は、直線上に並んだ前記管理番号に対して傾斜するような向きに配置される前記発光体の実装される基板面だけでなく、該基板面の反対側の基板面にも設け

10

20

30

40

50

られ、

直線上に並んだ前記管理番号に対して傾斜するような向きに配置される前記特別発光体の輝度を遊技者操作により調整可能な輝度調整手段を備える、

ことを特徴とする。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

本発明の遊技機においては、遊技興趣の低下を抑制することができる。

10

20

30

40

50